

作曲家モーツァルトの生涯を描いた演劇「自由なる魂の果てに：もう一人のアマデウス」が二十一日から二十五日まで東京都杉並区阿佐谷北のザムザ阿佐谷で上演される。女優片山美穂さん主宰の「チーム・クレセント」の第二回公演で、演出はミュージカル「はだしのゲン」を手掛けた木島恭さん。

舞台には街灯と一台のピアノ、テーブルと椅子などわずかなセットだけ。幼少時代を人形で表現したり、スライドも上映されたり、ちよっと変わった舞台になる。

片山さんは「たっぷりモーツァルトの曲を聴きながら、モーツァルトが時の権力や社会情勢から受けた心の葛藤や挫折を描くことで、現代の私たちの生きるヒントや勇気になるようにしたい」という。

同劇団は商業演劇とは一線を画し、都市や地方で社会性のある演劇活動を通じて平和な社会を目指そうと二〇一〇年に片山さんが立ち上げた。これまで作家の故西村滋さんの作品を中心に反戦、非戦をテーマに舞台化している。問い合わせは、片山さん 〓 電070(6470)0384 〓 へ。

モーツァルトの葛藤や挫折 劇に 21日から都内で